

ストライキ権100%の賛成で確立

日刊 勤労千葉

1988.10.5
No. 2901

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

大会
二日目



勤労千葉第15回定期大会

大会二日目は、八時半より再開され、動労西日本出口副委員長、動労連帯高崎和田山委員長よりあいさつを受け、祝電紹介、前日に続き質疑応答に入り、活発な討論がかわされた。

当局の組合つぶしに怒り集中
各代議員からは、JR当局による昇給・一時金差別、乗務停止の乱発、旅客と貨物の格差、運転保安無視、規定を知らない管理者、強制配転などに怒りが集中し、また、鉄道労連革マルの軍事物資輸送、組合間差別などが弾劾され、さらに営業での闘いの報告、営業協議会の今後の組織展望、労戦統一

- ① 強制配転・強制出向攻撃に関する闘い。
 - ② 組合差別・不利益扱い・回交拒否など労働基本権に関する闘い。
 - ③ 組合脱退強要・不当処分をはじめとした組織破壊攻撃に関する闘い。
 - ④ 運転保安確立と労働安全確保に関する闘い。
 - ⑤ 合理化と労働強化に関する闘い。
 - ⑥ 清算事業団配属者の雇用に関する闘い。
 - ⑦ 賃金に関する闘い。
 - ⑧ その他、第十五回定期大会決定方針に関する闘い。
- 期間・十月三日より次期定期大会まで向こう一年間。



勤労千葉第15回定期大会

動労千葉顧問・OB会 中江 昌 土大氏
五年間の議員生活をとおして、議会内外で一つの変革方向も出てきている。皆さんに負けない運動を進めていく。行動のないところに組合の活性化はない、このスローガンのもと闘っていきましょう。二一世紀に通用する労働運動を作っていく。

三里塚反対同盟・北原鉄山理事長
現地闘争本部は二期強行にそなえ特化した。強制収用阻止にむけて闘いに入っている。天皇制キャンペーンは断じて許せない。今年最大の闘いとして、十・二三現地集会をもちとるために総力結集を訴えます。

家族会・林 喜美 子△云 長
親組合の皆さんの闘いには頭の下がる思いです。家族会もいま一歩、ぜひともお父さんがもっとオルグして家族会の行事に参加させて下さい。

記録映画「轍」・渡部 幸雄 監督
家族の方にも、子供達にもわかるような映画として作った。大変いい映画です。ぜひとも各支部で上映会を設けてほしい。たとえ小数の集まりであってもフィルムと映写機をもっていきます。ぜひとも御協力を！

問題、解雇者、清算事業団強制配属者、強制配転者の原職奪還、京葉線問題などの質問意見が出された。
途中、三里塚反対同盟北原事務局長

その後、代議員より、「清算事業団の仲間の原職奪還にむけてたかろ決議」「一般消費税導入に反対する決議」「天皇制キャンペーン・天皇Xデー攻撃と対決する決議」、本部側より「三里塚二期工事阻止、土地収用法適用粉碎、十・二三現地闘争に総決起する決議」が提案され、一九八八年度運動方針、予算など満場一致で採択された。

スト権一〇〇%！ 反撃体制確立

続いて、運動方針にふまえて、スト権批准投票が行われ、全員一致一〇〇%で確立し、さらに役員補充の信任投票が行われ、新たに三名の執行委員が選出され、大会宣言、新旧役員あいさつ、議長団解任、組合歌合唱、団結ガンパローをもって大会は成功裡のうちに終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！



最後に、総括答弁にたった布施書記長は「各代議員からの勝利の確信にあふれた報告と決意が出され、大会は大成功だ。総連合は、真に闘う路線、方針をもって闘っていく」としめくくられた。そして、提案された運動方針(案)予算(案)、「

天皇Xデーを許さない決議」、大会宣言を満場一致で採択し、動労西日本井面委員長を副委員長、動労水戸石井副委員長を執行委員、会計監査に動労連帯高崎関和副委員長をそれぞれ選出し大会は大成功のうちに終了した。

今日、動労総連合の任務は重大である。奴隷の道を強制するJR、そしてその先兵となっている鉄道労連革マルを一掃し、動労総連合の強化・拡大をもって、さらには各単組の生産点での職場抵抗闘争、ストライキをはじめとした実力闘争、地域での共闘関係を精力的に追求し、一步一步着実に前進しよう!

選出された新役員

役職名	氏名	年齢	出身	職名
執行委員長	水野正美	五一	千葉	運転士
執行副委員長	井面義信	五一	西日本	運転士
同	辻川慎一	三一	水戸	運転士
書記長	布施宇一	四六	千葉	運転士
執行委員	和田山繁	三八	高崎	運転士
	山口敏	四一	千葉	運転士
	石井真一	二七	西日本	運転士
	内山真昭	四二	水戸	運転士
	加納昭	二八	千葉	運転士
会計監査員	鈴木芳博	三〇	高崎	車両係
	関和之	三三	水戸	運転士



各代議員から自信あふれる地方報告、質疑応答

(水戸) 当局はベンディングセンター、グリーンサービスセンター、ベトナムメーカーなどと称する「新事業」に動労水戸、動力車労働組合に不当な強制配転を新たな攻撃にできた。

この攻撃に対し、動労水戸は九月三〇日、勝田駅においてストライキを多くの仲間を結集し、かちとった。

同時に、このストライキに向けて動力車労組や国労の組合員にスト支援の署名・カンパを訴えて「動労水戸のように闘わなくてはだめだ」という熱い議論を職場でまきおこしている。やはり、ストライキの威力はすばらしいことを実感した。

動労総連合は希望の星だ。ストライキの勝利にふまえ断固闘う! 総連合の各組合でもっと交流を深めたい。

(千葉) 事故問題などでの鉄道労連と動労千葉との差別は断じて許せない。区長は「東鉄労来栖業務部長は大変まじめだからだ」といっているらしいが、こんなふざけたことがあるのか。西日本の組織拡大の朗報を聞いて大変感動した。その教訓に踏まえ、この間の職場での闘いのなかで一名の組合員の動労千葉への復帰をかちとった。さらに、千葉から鉄道労連を一掃するために頑張る。

(高崎) 安全を無視した当局の攻撃を許さない。高崎では、乗務員に雨の日、起電停止もせずパンタグラフの修理をさせたり、具合が悪い乗務員に無理矢理運転させ、その乗務員が上野につくなりなんなり救急車で運ばれるという事件などが続発している。

地域でも共闘を上げるために、反天皇集会を開催する。天皇Xデー攻撃を許さない決議を総連合としてもあげていこう。強制配転粉砕のために地労委闘争を全力で闘う!

(西日本) 大阪、三次で五波のストライキを闘いとった。大阪では直営事業の出向・子会社化、新事業への強制配転と対決し、組合員を守り抜いた。三次でのストは、堂々とスト突入集会を構内で開催し、不良職制を圧倒し、多くの仲間の共闘も作りだした。この間の闘いで女性の組合員を獲得。労戦問題で広島でも多くの労組が反対している。